

奨励賞

特集ドラマ

どこにもない国

NHK

前編:平成30年3月24日(土)、後編:平成30年3月31日(土)



昭和20年。満州で丸山邦雄は終戦を迎えた。ソ連の占領下、取り残された日本人が略奪や暴行にさらされ、飢えと寒さで多くの命が失われていった。早期の引き揚げ実現を求め丸山は新甫八朗、武蔵正道と共に祖国日本への脱出を決意するがそれは命がけの行動だった。ようやくたどり着いた日本で政府が引き揚げを行う権限も実力も持たないと知り、引き揚げを訴えるキャンペーンを全国で展開、さらに吉田茂、マッカーサーへ直訴。満州に残された妻・万里子はラジオで演説する夫の声で初めて生存を確認し涙する。昭和21年4月、多くの在留邦人が待ち望んだ引き揚げがついに実現する。

原案 ポール・邦昭・マルヤマ
作 大森寿美男
音楽 川井憲次
制作統括 中村高志
演出 木村隆文
美術 青木聖和
音響効果 金本美雨
技術 水野富裕
撮影 藤田浩久
照明 富岡幸春
音声 高木 陽
語り 柴田恭兵
出演 内野聖陽
木村佳乃
原田泰造
蓮佛美沙子
満島真之介
片岡鶴太郎
萩原健一 ほか



● 受賞のことは

かつて「満州国」という国が存在していたことを多くの日本人は忘れ去っています。足かけ14年の歴史しかもたない日本の傀儡国家でしたが、150万を超える日本の民間人が生活しており、「現地での定着を図る」という政府方針によって、終戦直後は事実上、放置されました。多くの邦人、中でも子どもや女性といった弱者が次々と命を落としていく絶望的な状況にあって、何の権限もない無名の民間人が見知らぬ同胞を救うために命をかけて戦ったという、歴史に埋もれてきた実話をこのドラマでは描いています。放送後は多くの引き揚げ体験者から、励ましと共感の言葉を頂戴しており、今回の受賞を当時を懸命に生きた多くの無名の方々に捧げたいと思います。

NHK 中村高志